

CentreCOM AR260S 設定例

PPPoE による LAN 型インターネット接続(スタティック NAT によるサーバー公開)

PPPoEを使ってインターネットサービスプロバイダー(以下 ISP)に接続します。グローバルアドレス を8個、16個などのブロック単位で固定的に割り当てられるLAN型接続の設定例です。この例では、 ISPから割り当てられたアドレスをルーターやホストに直接割り当てず、LAN側コンピューターはプラ イベートアドレスで運用します。クライアントはダイナミックENAT経由でインターネットにアクセス させます。また、ファイアウォールを使って外部からのアクセスを原則拒否しつつ、スタティックNAT を使って特定のサーバーだけを外部に公開します。

ISP からは次の情報を提供されているものとします。

表 1: ISP から提供された情報

PPP ユーザー名	user@isp
PPP パスワード	isppasswd
PPPoE サービス名	指定なし
使用できる IP アドレス	4.4.4.0/29(4.4.4.0~4.4.4.7)
DNS サーバー	自動取得(端末に設定)

ルーターには、次のような方針で設定を行います。

- LAN 側はすべてプライベートアドレスで運用します。LAN 側のクライアントがインターネットに アクセスできるよう、ダイナミック ENAT を使用します。グローバルアドレスには、4.4.4.1を 使います。
- LAN側のサーバーにもプライベートアドレスを割り当てますが、外部からアクセスさせるため、 スタティック NATを使って外からはグローバルアドレスを持っているように見せかけます。変換ルールは次のとおりとします。
 - o Web サーバー: 192.168.10.2 4.4.4.2
 - o SMTP サーバー: 192.168.10.3 4.4.4.3
 - o DNS $\forall N : 192.168.10.4$ 4.4.4.4



- ファイアウォールを利用して、外部からの不正アクセスを遮断しつつ、内部からは自由にイン ターネットへのアクセスができるようにします。
- 外部からのアクセスは基本的にすべて遮断しますが、スタティック NAT で公開している Web サ ーバー(4.4.4.2 の TCP80 番)、SMTP サーバー(4.4.4.3 の TCP25 番)、DNS サーバー(4.4.4.4 の TCP/UDP53 番)へのアクセスだけは特例として許可します。

以下、ルーターの基本設定についてまとめます。

表 2:ルーターの基本設定

WAN 側物理インターフェース	WAN
WAN 側(ppp0)IP アドレス	Unnumbered
LAN 側(vlan1)IP アドレス	192.168.10.1/24
DHCP サーバー機能	使わない
DNSリレー機能	使わない



図1 ネットワーク構成図



<u>ルーターの設定</u>

1.メニューから「LAN」 「LAN」の順にクリックし、LAN 側 IP アドレスの設定を行います。

LAN®IP設定			
IPアドレス	192.168.10.1		
サブネットマスク	255.255.255.0		
(適用) (ヘルプ)			

以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。端末の IP アドレスを 192.168.10.100 など変更後のアドレスにあわせて設定し、変更後の AR260S の IP アドレス (192.168.10.1)に接続し直して下さい。

Microso	ft Internet Explorer 🛛 🔀
1	LAN側IPアドレスまたはサブネットマスクが変更されています。変更後のLAN側IPアドレスで再接続してください



AR Series Configuration Example

2.メニューから「WAN」 「WAN」の順にクリックします。セッション ID: PPPoEO を選択し、インター ネット接続の設定を行います。

WAN 側 IP はグローバル IP を 8 個取得する Unnumbered 接続となりますが、スタティック NAT を使用する場合は、「Unnumbered PPPoE」は「無効」にします。

WAN設定		
接続モード	PPPoE 💌	
セッションID	PPPoE:0 • 接続	¥7
デフォルトゲートウェイ	PPPoE:0 •	
Unnumbered PPPoE	○有効 ◎ 無効	
ホスト名	AR260S	(オブション)
ユーザー名	user@isp	
バスワード	·····	
サービス名		(オプション)
AC(アクセスコンセントレーター)名		(オプション)
DNSオプション	○固定設定 ◎自	動取得
ブライマリDNSサーバー		(オブション)
セカンダリDNSサーバー		(オプション)
MSSクランプ	○無効 ○有効 MSSの値: 40	Bytes
接続オプション	 C ダイアルオンデ エコー送信間隔 6 	マンド © キーブアライブ © 無効 0 秒
		適用 ヘルプ

3.メニューから「ファイアウォール」 「ポリシーリスト」 「NAT プール」の順にクリックし、スタ ティック NAT の設定を行います。

3-1. 192.168.10.2 は、4.4.4.2 ヘスタティック NAT を行う「NAT プール」を作成します。

NATプール設定		
ブールの新規追加 💌		
ブール名	WebServer	
ブールタイブ	スタティックNAT 💌	
変換前のIPアドレス	始点IPアドレス 192.168.10.2 終点IPアドレス 192.168.10.2	
NAT IPアドレス	始点NAT IPアドレス 4.4.4.2 終点NAT IPアドレス 4.4.4.2	
追加 変更 削除 ヘルプ		



3-2. 192.168.10.3 は、4.4.4.3 ヘスタティック NAT を行う「NAT プール」を作成します。

NATブール設定		
ブールの新規追加 💌		
ブール名	SMTP_Server	
ブールタイブ	スタティックNAT 💌	
変換前のIPアドレス	始点IPアドレス 192.168.10.3 終点IPアドレス 192.168.10.3	
NAT IPアドレス	始点NAT IPアドレス 4.4.4.3 終点NAT IPアドレス 4.4.4.3	
(追加) 変更 削除 (ヘルプ)		

3-3. 192.168.10.4 は、4.4.4.4 ヘスタティック NAT を行う「NAT プール」を作成します。

NATフール設定		
ブールの新規追加 💌		
ブール名	DNS_Server	
ブールタイブ	スタティックNAT 💌	
変換前のIPアドレス	始点IPアドレス 192.168.10.4 終点IPアドレス 192.168.10.4	
NAT IPアドレス	始点NAT IPアドレス 4.4.4.4 終点NAT IPアドレス 4.4.4.4	
(追加)変更 削除 (ヘルプ)		

3-4.ダイナミック ENAT を行う「NAT プール」を作成します。LAN 側のプライベート IP アドレスを、ISP から与えられたグローバル IP アドレス 4.4.4.1 に変換する「NAT プール」を作成します。

NATプール設定		
ブールの新規追加 💌		
プール名	ENAT	
ブールタイブ	ENAT	
NAT IPアドレス	4.4.4.1	
	(追加)変更 削除 (ヘルプ)	



3-1から3-4まで終了すると、「NAT プールリスト」は以下のように表示されます。

				NATプ	ールリスト		
		ブール名	NATタイプ	NAT IPアドレス	インターフェース	範囲指定	NAT範囲指定
/	Ē	WebServer	スタティック NAT			192.168.10.2 - 192.168.10.2	4.4.4.2 - 4.4.4.2
1	Ē	SMTP_Server	スタティック NAT			192.168.10.3 - 192.168.10.3	4.4.4.3 - 4.4.4.3
	1	DNS_Server	スタティック NAT			192.168.10.4 - 192.168.10.4	4.4.4.4 - 4.4.4.4
J		ENAT	ENAT	4.4.4.1			

- 4. メニューから「ファイアウォール」 「Outboundアクセス」の順にクリックします。Outboundアク セス設定では、内部から外部へ出る場合の設定を行います。
- 4-1. 192.168.10.2 は、4.4.4.2 ヘスタティック NAT を行うように設定します。

Outboundアクセス制御設定		
ID 新規追加 < アクション	通過 ▼ 優先度 1 ▼	
送信元	タイプ IPアドレス T IPアドレス 192.168.10.2	
宛先	タイプ 全て 💌	
送信元ボート	タイプ 全て 💽	
宛先ボート	タイプ 全て 💽	
プロトコル	全て I	
NAT	NATプール ブール WebServer	
ログ	C 有効 € 無効	
VPN	○有効 ⑥無効	
(追加) 変更 削除 (ヘルプ)		

4-2. 192.168.10.3 は、4.4.4.3へスタティックNATを行うように設定します。

Outboundアクセス制御設定		
ID 新規追加 マクション	通過 🖃 優先度 1 🖃	
送信元	タイプ IPアドレス IPアドレス I92.168.10.3	
宛先	タイプ 全て 💌	
送信元ボート	タイプ 全て 💌	
宛先ボート	タイプ 全て 💌	
プロトコル	全て I	
NAT	NATプール ブール SMTP_Server I	
ログ	○有効 ◎無効	
VPN	○ 有効 ◎ 無効	
(追加) 変更 削除 (ヘルプ)		



Outboundアクセス制御設定				
ID 新規追加 < アクション	通過 💌 優先度 1 💌			
送信元	タイプ IPアドレス IPアドレス I92.168.10.4			
宛先	タイプ 全て 💌			
送信元ボート	タイプ 全て 💌			
宛先ボート	タイプ 全て 💌			
プロトコル	全て M			
NAT	NATプール ブール DNS_Server			
ログ	○有効 ◎無効			
VPN	○有効 ◎無効			
(追加)変更 削除 (ヘルプ)				

4-3. 192.168.10.4 は、4.4.4.4へスタティックNATを行うように設定します。

4-4.スタティックNATに該当しない端末は、ENATを行うように設定します。ENATの設定は、スタティックNATの設定より優先度を低くする必要があります。

デフォルトでインターフェースNATを使用する設定が入っておりますので、PPPoEOを使用するインターフェースNATの設定から、ENATを使用する設定に変更してください。

				Outi	oundアクセス制度	殿定					
D	4		アクショ	ン 通過 💌 👔	先度 4 💌						
送	記元			タイプ全て							
宛	无			タイプ全て	-						
送	記元	ボー		タイプ全て							
宛	たボ	-ŀ		タイプ 全て							
ブロ	가그	uL		全て 💌							
NAT				NATブール ブール ENAT	NATJール ブール ENAT						
П¢	1			○有効 €無	○有効 €無効						
VP	N			○有効 €無	効						
					BHI) 変更 (削除)		(ヘルプ)			
-				Outb	oundアクセス制御	リスト					
		ID	送信元	宛先	ブロ	トコル	NAT	アクション			
1		1	192.168.10.4	全て	全て	、全て、全て	DNS_Server	通過			
1	m	2	192.168.10.3	全て	全て	、全て、全て	SMTP_Server	通過			
1	1	3	192.168.10.2	全て	全て	「全て」全て	WebServer	通過			
1	=	4	全て	全て	全て	、全て,全て	ENAT	通過			

ENATと併用する場合、スタティックNATの優先度(IDが優先度を表しています)をENATより高く(小 さい値)設定してください。優先度の順番を間違えるとサーバー公開できない問題が発生してしま います。



AR Series Configuration Example

- 5.メニューから「ファイアウォール」 「inboundアクセス」の順にクリックします。Inboundアクセ ス制御設定では外部から内部へのアクセスに関する設定を行います。ここでは、サーバー公開の設 定を行います。
- 5-1.インターネット側から「4.4.4.2」のTCP/80番宛の通信は「192.168.10.2」に転送する設定を行い ます。ここではサービスで指定していますが、ポート番号での指定も可能です。

	Inboundアクセス制御設定
ID 1 🔹 アクション	通過 🖃 優先度 1 🖃
送信元	タイプ 全て 💌
宛先	タイプ IPアドレス IPアドレス IPアドレス 4.4.4.2
送信元ボート	タイプ 全て 💌
宛先ボート	タイブ サービス ▼ サービス HTTP ▼
NAT	IPアドレス I IPアドレス 192.168.10.2
ログ	○有効 ◎無効
VPN	○有効 ◎無効
	追加 変更 削除 ヘルプ

5-2.インターネット側から「4.4.4.3」のTCP/25番宛の通信は「192.168.10.3」に転送する設定を行い ます。ここではサービスで指定していますが、ポート番号での指定も可能です。

Inboundアクセス制御設定				
ID 新規追加 マクション	通過 ▼ 優先度 1 ▼			
送信元	タイプ 全て 💽			
宛先	タイプ IPアドレス IPアドレス IPアドレス 4.4.4.3			
送信元ボート	タイプ 全て 💌			
宛先ボー⊦	タイブ サービス ▼ サービス SMTP ▼			
NAT	Pアドレス ▼ Pアドレス 192.168.10.3			
ログ	○有効 ◎無効			
VPN	○有効 ◎無効			
(追加)変更 削除 (ヘルプ)				



5-3.インターネット側から「4.4.4.4」のTCP/53番宛の通信は「192.168.10.4」に転送する設定を行い ます。DNSは、AR260Sのサービスリストに設定されていないため、ポート番号で指定します。(サ ービスリストに新規追加し、サービスで指定することも可能です。)

	Inboundアクセス制御設定
ID 新規追加 マクション	通過 🔄 優先度 1 🖃
送信元	タイプ 全て 💌
宛先	タイプ IPアドレス T IPアドレス 4.4.4.4
送信元ボート	タイプ 全て 💌
宛先ボート	タイプ ポート指定 ▼ ポート番号 53
プロトコル	TCP -
NAT	IPアドレス III IPアドレス 192.168.10.4
ログ	○有効 ◎無効
VPN	○ 有効 [◎] 無効
	追加 変更 削除 ヘルプ

5-4.インターネット側から「4.4.4.4」のUDP/53番宛の通信は「192.168.10.4」に転送する設定を行い ます。DNSは、AR260Sのサービスリストに設定されていないため、ポート番号で指定します。(サ ービスリストに新規追加し、サービスで指定することも可能です。)

	Inboundアクセス制御設定
ID 新規追加 ID 新規追加 ID Finite アクション	通過 💌 優先度 1 💌
送信元	タイプ 全て 💌
宛先	タイプ IPアドレス ・ IPアドレス 4.4.4.4
送信元ボート	タイプ 全て 💌
宛先术一ト	タイプ ポート指定 ▼ ポート番号 53
プロトコル	UDP -
NAT	IPアドレス III IPアドレス 192.168.10.4
ログ	○有効 ◎無効
VPN	○有効 ◎無効
	追加 変更 削除 ヘルプ



5-1から 5-4 まで終了すると、「Inbound アクセス制御リスト」は以下のように表示されます。

	Inboundアクセス制御リスト						
		ID	送信元	宛先	ブロトコル	NAT	アクション
l	ŵ	1	全て	4.4.4.4	UDP,全て,53	192.168.10.4	通過
1	$\overline{\square}$	2	全て	4.4.4.4	TCP,全て,53	192.168.10.4	通過
I	\overline{m}	3	全て	4.4.4.3	SMTP(TCP,25)	192.168.10.3	通過
s	Ť	4	全て	4.4.4.2	HTTP(TCP,80)	192.168.10.2	通過

6. メニューから「システム管理」 「サービスの有効 / 無効」の順にクリックします。「ファイアウ ォール」を有効にします。(デフォルトで有効になっております。)

ファイアウォール	●有効 ○無効	
VPN	C 有効 ● 無効	
DNSUU-	○ 有効 ● 無効	
DHCP	○ 有効 ● 無効	
SNTP	C 有効 € 無効	
リセットスイッチによる初期化	 ● 有効 ○ 無効 	

<u>メモ</u>

1.メニューから「ファイアウォール」 「統計情報」の順にクリックします。ファイアウォールのコ ネクション情報を確認することができます。以下の情報では、internet 側(WAN 側)からのアクセ スに関する情報が出力されていることが確認できます。

Active Connections								
Source Network	Protoco	Source IP-Port	Destination IP-Port	NAT IP-Port	Life (Secs)	Bytes Out	Bytes In	
LAN	TCP	192.168.10.100 - 1387	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0	
LAN	тср	192.168.10.100 - 1385	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0	
LAN	тср	192.168.10.100 - 1386	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0	
LAN	TCP	192.168.10.100 - 1388	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	600	0	0	
LAN	UDP	192.168.10.100 - 1052	192.168.10.1 - 53	0.0.0.0 - 0	48	0	0	
Internet	TCP	200.200.200.100 - 1364	4.4.4.2 - 80	192.168.10.2 - 80	528	45110	2554	
Internet	TCP	200.200.200.100 - 1360	4.4.4.2 - 80	192.168.10.2 - 80	420	0	0	
Internet	TCP	200.200.200.100 - 1363	4.4.4.2 - 80	192.168.10.2 - 80	516	65504	3257	
			Total Connections	Count				
	TCP		UDP	ICMP		Others		
	7		1	0		0		
			更新					

更新日 2005年06月08日